

平成28年度第1回障害者支援センター運営委員会 議事録

■開催日：平成28年5月30日（月）午前10時～12時

■場所：横浜市健康福祉総合センター9階 901・902会議室

■出席者：委員総数16名中13名出席

大塚委員、渋谷委員、永田委員、大友委員、八島委員、長谷山委員、下山委員、谷口（実）委員、早坂委員、室津委員、谷口（政）委員、増田委員、茨木委員
（オブザーバー）横浜市2名（君和田障害支援課長、佐藤福祉保健課担当係長）

■議事

（森センター長）

去る5月27日に社協の理事会があり、佐々木会長から退任の挨拶があった。6月1日の理事会において、次期会長が選任される予定である。

これまで運営委員会では、いろんな意見があったが、その議論がまとまった方向に実を結んでいないという状況があり、積み残しになってきていることもある。支援センターの役割も考えなければいけない時期であると思っており、運営委員会での議論のまとめに入ろうかと検討を始めている。そのために例年の年3回の開催に加え、秋頃に次回運営委員会を開催し議論をしたい。現在、管理職を中心に検討をしているが、先送りにせずに目標を決めて進めていきたいと思っている。

（小野課長）

定足数の確認。16名の委員数に対し13名出席。委員会の成立を告げる。

○運営委員の委嘱について

運営委員の委嘱については、任期が28年4月1日から30年3月31日までの2年間である。

○協議事項

（1）障害者支援センター運営委員会委員長の選出及び委員長職務代理者の指名について

（小野課長）

議題に入らせていただく。運営委員会設置要綱では、委員長が議長を務めると規定されているが、今期の委員長がまだ選任されていないので、委員長が選任されるまで、事務局が進行を務める。

協議事項「資料1」について資料に基づき説明。立候補もしくは推薦があれば発言いただきたい。

（八島委員）

谷口（政隆）先生に引き続き、委員長をお願いしたい。

(一同)

了承。

(小野課長)

それでは、これからの進行は委員長にお願いしたい。

(谷口委員長)

今後ともよろしくお願いしたい。委員長職務代理者は茨木委員を指名する。

(谷口委員長)

このセンターの運営委員会で、非常に大きな基本的な問題だが検討しきれていないでいることが幾つかある。一つは、エンパワーメントという課題。過去に開催していたふれあい塾は、障害者自身が中心に立って、障害者から教えてもらうというもので、素晴らしいものだった。また、青い芝の運動や各親の会の運動、訓練会や作業所、地域活動ホームの拡充、これらの歴史をまとめ、振り返って、我々は今どういう地点に来ているのかということをもとめておくべき時期に来ているのではないかと考えている。日本における障害者問題の一番の基本は、やはり市民権が認められていないということにあると思う。その根っこには、日本人の意識の中には、市民権、citizenshipという理解がないと感じる。そこをしっかりと固めていかないと、障害者差別解消法といったものの内実をつけていくことができないと考えている。もう一つ課題提起しておきたいことは、障害者の運動であり、障害者が単に市民の中において、何げない誰もあらためて見ることをしない市民として生きるのがいいことなのだとだけは言ってもらえない。権利主張を改めてしていかななくてはいけない、そういう問題が隠されているのだろうと考えている。

○報告事項

(1) 平成27年度障害者支援センター事業報告及び決算について

(谷口委員長)

では、議題に入らせていただく。報告事項1について事務局より説明願いたい。

(小野課長)

別冊資料に基づき説明。

(川田所長)

別冊資料に基づき横浜あゆみ荘の事業報告を説明。

(谷口委員長)

意見・質問があればどうぞ。

(下山委員)

「人材確保事業」について、ブース来場者数のうち実際に人材確保に結びついた人数を教えてください。

(小野課長)

何名の方が実際に結びついたか、人数の集約は行っておらず、把握していない。

(谷口委員長)

人材確保が非常に難しいというのはどこでも言われている。市社協としての取組みは他に行われているのか。

(小野課長)

ウィリングが人材確保支援事業を行っており、毎週2回相談会を開催している。また、男女共同参画推進協会や区社協などにおいて出張個別相談やガイダンスを行っている。併せてウィリングに「ウェルじゃん」というコーナーを運営し、求人等の情報を提供している。

(茨木委員)

11月28日という日にち設定では、その年の卒業生の就職先はほぼ決まっておらず、新卒の学生にとっては遅い時期である。せめて一般企業の時期と同じ時期がよいと思う。若い職員によるシンポジウムのような工夫も必要である。

(谷口委員長)

いかがでしょうか。

(谷口実委員)

昨年も横浜市の実業ということで就職フェアに関わらせてもらったが、時期としてはかなり辛い部分もあった。あと予算が少ないようで、このことの厳しさを正直感じている。今年度もウィリングを会場に予定しているが、予算を考えるとウィリングで行うということになる。そのような中で、地方をターゲットにしないと新規の方々が集まらないように思う。また、受注センターにも連絡会委員として関わっているが、支援センターが受託してくれて本当によかったなと思っている。現在、単年度事業、単年度契約になっているが、継続的に発展していくためにも、横浜市には複数年の委託にしていきたいというのを、皆さんからも声を上げていただけたらと思っている。

(大友委員)

人材確保事業だが、最近、障害企画課から市精連は関わっていないので一緒にどうか、といった話がある。報告書を見て思うことは、実効性が上がっていないという印象がある。これからの人材確保は非常に深刻な問題になってくるというのは、はっきりしていて、2025年問題とか介護とか高齢者も大

変だが、それに引っ張られて精神もかなり大変になってくると思っている。そういうことも含めて考えてほしい。

(谷口委員長)

他には、いかがか。

(長谷山委員)

訓練会のことだが、4月に10人に満たなくて6月から助成という説明がある。訓練会の活動は、お母さんたちのエンパワーメント、育てる力にとって、とても大事な部分で、なくなっていいものではないと私たちはずっと思っており、横浜が本当に誇れるものだと思っている。訓練会をどう維持していくか、そして増やしていくかを真剣に考えていかなければいけないと思う。私たち親だけで考えられる問題ではないので、皆さんに考えていただけるとありがたいと思う。

(下山委員)

訓練会に入る子供・親御さんが少なくなってきたのは、放課後等デイサービスが始まって、お子さんたちが利用できる支援先が増えていることも影響していると思う。ただ、訓練会に見学に来た方は、そのよさをすぐに理解し、大体、皆さん入られる。訓練会の存在をもっと知っていただきたく必要がある。最近、東部地域療育センターから紹介で、見学に来る方がいる。やはり直接自分が知っている方から具体的な話を聞いたりすると、すごくそこに結びつくと思う。子供たちの活動だが、親が子供を育てていく力を身につけていく、親としての力を身につけていく場でもあり、大事にしていきたい。ぜひ支援センターとしても熱心に考えていただければと思う。

(八島委員)

訓練会の良さというのは、親が子供を育てる力をそこで養える。これはお母さんだけでなく、父親も含めて障害児を育てる力を親がつける、そういう場所であるということ。それから子供にとってどうなのかなというふうにと考えると、生きる力を本人は持っているわけで、子供自身が持っているそういう育ち上がっていく力を本当につけるのは、やはり訓練会だろうと思う。デイサービスとも共存できるような仕組みを考えてもいいのではないかと思う。

(早坂委員)

私も訓練会に育てられて、ここまで活動を続けてきたひとり。訓練会は、障害を持たれたお子さんたちが、本当に安心して集える場であり、家族も安心して集える場であって、ともに育っていく大事な育ちの部分だと思う。訓練会の活動の場は、大体が活動ホームの中で活動しているが、訓練会は自主事業であって活動ホームの事業ではない。しかし、お母さんたちが自主事業で会を運営していくというのは、雑務も多く大変で、やはり活動ホームが、訓練会の活動の支援をしていかなければいけないのではないかと思っている。活動ホームの中で、訓練会の活動をサポートするような仕組みができていったらいいと思うが、これは各活動ホームの思いだけではできないことで、市にもお願いした

いと思う。そのためには支援センターも含めて、一緒に障害を持った子供の育ちの場を増やしてあげたいと思っている。

(谷口委員長)

継続して出ている意見で、それで具体策が出ないまま流れてきているので、一回課題を整理して、展望を見出すという作業を試みる必要がある。

(八島委員)

よく計算したわけではないが、地域訓練会のシステムというのは、恐らくコストパフォーマンスが良く、非常にいい成果が上がるシステムじゃないかを感じる。

(茨木委員)

10人というラインは、子供が増えてきたとはいえ、障害がある人が通える範囲で10人を集めることは結構大変ではないか。例えば、これを5人にしたらもう少し活性化するのか、それともやっぱり10という数がすごく大事なのか。

(下山委員)

人数を集めることは難しいが、支援センターではできるだけ継続できるように、10人以下でも何とか続けられるようにフォローしてくれている。だから4月の時点で10人に満たなくても、今後10月には10人になるということで、助成してくれるといった配慮がある。あとは回数の問題があるので、その辺を検討することが必要だと思う。

(長谷山委員)

10人というのは厳しいが、でも5人になったらどうだろうと逆に思う。5人だと逆に活動ができなかったりもする。あとは今、保育の人たちは、ほとんど療育センターに通っていて訓練会に来られない。いつもの活動日には参加できないが、土日にやったらどうかとか、今私たちの中では、いろいろと案を出している。保育園に行っている人たちが増えてきており、その場合、回数の設定というのを考えてなければいけない。月4回は参加しづらい。働いているお母さんも増えているので、そういう意味でもきつくなっている。助成要件のハードルを下げる考え方も必要かもしれない。先ほど早坂さんからあったが、お母さんになったばかりの若い方が、障害があることでおろおろして、どうしようどうしようと思っているところに入会して、会計とかいろいろと役割ができて苦労している。活動ホームから少し担ってくれる方が必要なのではないかと、少しずつ考えている。

(谷口委員長)

自閉症懇談会のように、期間を区切って皆さんで議論し、それを固めるといったスピーディーな方向で進められたらどうかということで検討をお願いしたい。ほかに意見などある方はどうぞ。

(増田委員)

共同受注総合センター事業について、登録施設数の目標が130カ所のところ207カ所の実績があったが、目標設定からすると、はるかに多い登録施設数だと思う。こうした場合、翌年度の登録施設数の目標はどうなるのか。新規の登録数が目標になるのか。それから、受注件数と受注額について、それぞれ受発注側の評価を聞きたい。

(小野課長)

登録は単年度ではないので、継続登録となる。本年度の登録施設の目標は、支援センターの目標として220カ所としている。受注件数について、本年度は目標を設定しており、横浜市の仕様書は、60件以上となっているが、支援センターは上積みをし、85件以上を目標として設定している。評価については、問い合わせが237件あったうち、受注に結びつかなかったものが98件あり、受注側と発注側のミスマッチが起きている。主には印刷だが、印刷機の性能等事業所側の作業能力では対応できない案件が多かった。今年度は、登録施設だけではなくて企業への訪問も、100カ所以上という目標を立てており、受注促進を積極的に取り組む予定である。

(増田委員)

「わーくる」という愛称とキャラクターの「じゅチューくん」は、取り組みの第一歩を示したという感じがするので、広報等で「じゅチューくん」を前面に出しながら、何となくかた苦しい「受注センター」という表現から身近なものになると思う。大変期待している。

(小野課長)

ありがとうございます。

(谷口委員長)

それではこの報告事項について、よろしいか。

(一同)

了承。

(2) その他

(谷口委員長)

では、「その他」について、事務局より説明願いたい。

(村岡事務室長)

1点目は、感謝の集いだが、そのあり方については、前回の運営委員会でご意見をいただいております。今年度の検討の中でまた整理をしていきたいと思っているが、精神障害者事業所の表彰者推薦や参加

についてご意見をいただいている。今は障害の施策を3障害一体で進めていくということもあり、今後は、精神障害者活動支援センターに貢献しているボランティアの方も対象にしていきたいと考えている。2点目は、障害者差別解消法の取り組みに関して、障害者差別解消支援地域協議会の委員に就任していることと、障害者団体部会の事務局を所管していることもあり、皆様からいろいろとご意見をいただき、それを横浜市のほうに反映をさせていきたいと考えている。3点目は、6月1日に、渋谷委員が活動拠点にしておられる「IL・NEXT」から、渋谷委員とそこで活動している女性の方においでいただき、いろいろと皆様が日ごろ感じておられる思いを聞き、そういったことを踏まえて支援センターとして差別解消への取り組みについて考えていきたいということで、学習会を計画している。

(手代木課長)

皆様に冊子をお配りしている。昨年12月11日に横浜市社協の取り組みとして、よこはま地域福祉フォーラムを実施しその報告書である。それぞれの部署が事例を出し合い、サブタイトルにあるとおり「おたがいさまの縁づくり」について、地域の中での支え合い活動の実例や、つながりの様子などがわかる事例の紹介を6つの分科会の中で実施をした。今年度も第2回目を実施することが決まっております、11月24日開催を予定している。

(小野課長)

「その他」は以上である。

(谷口委員長)

それでは、次回の日程について説明願いたい。

(小野課長)

9月26日月曜日の午後を予定している。

(谷口委員長)

では、これで運営委員会を終了する。

【次回】 9月26日月曜日 午後2時～